

令和2年度第1回柏市人・農地プラン検討会 意見及び回答内容

1	松丸 栄二 委員
意見内容	<p>「効率的な経営促進や農地保全の観点から農地集積を推進する」とありますが、集積から集約に進んでいくためには、今まで以上に行政が強力なサポートを行わなければ、自発的な集約化は望めないのではないかと考えています。</p> <p>現在は、地域集積事業がある際に参加しなければ、協力金を受け取ることができないため、将来の集約化の目標なく参加するという状況に陥ってしまっているのではないのでしょうか。</p> <p>今後、農地中間管理機構を介した地域集積事業については、少なくとも参加者に対し、集積から集約に進んでいくシミュレーションの作成及び提出を求め、具体的な計画を立てた上で必要な支援を行うのではないのでしょうか。</p> <p>そのためには、行政が専門に担当者を付け、サポートをしていくことが必要ではないかと考えます。</p> <p>今の状況下では、集約化の見通しがないまま集積のみが実施される状態が長期化し、集約が進まないのではないのでしょうか。</p>
事務局回答	<p>農業者の高齢化等を背景とした荒廃農地増加の懸念から、まずは、離農・引退等を検討している農家の農地把握に努め、中心経営体等の担い手に集積していくことが重要と考えます。一方、すでに集積が進んでいる地域では、効率的な経営促進等の観点から集約化の検討を進めていく必要があります。</p> <p>委員からいただいた御意見を踏まえ、今後の地域集積事業推進にあたっては、引き続き、人・農地プランや農地中間管理事業の推進に係る担当者を配置し、集約化の具体的手法の検討を行う</p>

など，集積後の将来的な集約化が着実に進むよう関係機関ともしっかりと連携しながら取り組んでまいります。

2 江口 さやか 委員

プロセス②現況把握（地図の作成）に係る「アンケートで確認した農業者の年齢構成及び後継者の確保状況の記載」について，人・農地プラン地図に記載された「柏市ではアンケート回答者の3割が70代以上で，後継者がいない，または決まっています。」は，「柏市ではアンケート回答者の3割が70代以上で，かつ後継者がいない，または決まっています。」という表現が正しいのではないかと。また，他の資料からは，上記の内容が読み取ることができなかった。

事務局  
回答

文面はいただいた御意見と同様の意味合いで記載したのですが，分かりづらく申し訳ございません。今後，人・農地プランの話合い等で当該資料を用いる際には，本市の状況が正確に伝わるよう，分かり易い表現に努めます。

なお，70代以上の後継者の有無の回答状況及びアンケート回答者全体に関する割合は下表のとおりです。

回答総数 = 740 件

	後継者がいる	後継者がいない， または決まっていない
70代未満	101(13.6%)	289(39.1%)
70代以上	96(13.0%)	228(30.8%)

※カッコ内の数字は回答全体に対する割合

※年代の未回答または後継者有無の未回答があるため，回答総数とは一致しません。

